

国内プライベートクラウド市場予測を発表

Japan, 2020年10月19日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内プライベートクラウド市場予測を発表しました。これによると2020年の国内プライベートクラウド市場規模は、前年比19.9%増の8,747億円になると予測しています。また、2019年~2024年の年間平均成長率 (CAGR: Compound Annual Growth Rate) は28.6%で推移し、2024年の市場規模は2019年比3.5倍の2兆5,658億円になるとIDCは予測しています。

国内市場では、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大によって、多くの企業がIT投資を抑制しており、導入プロジェクトの遅延も見られます。その影響によって、2020年の国内プライベートクラウド市場は成長が鈍化しています。

現在の国内プライベートクラウド市場は、ITの効率化を目的とした「仮想デスクトップの導入」や「従来型ITからの移行」が同市場の成長を牽引しています。一方、企業の関心はITの効率化からデジタルトランスフォーメーション (DX) へと拡大しています。もちろん、プライベートクラウドは発展しており、DXを支える基盤として「コンテナ環境」「人工知能 / 機械学習」「オープンAPI」などの新技術への対応が進んでいます。さらには、ベンダーが有するIT資産を「サービス (as a Service)」として提供するホステッドプライベートクラウドは「産業特化型クラウドサービス」「パブリッククラウドの技術を活用したローカルクラウド」など、多様に発展しています。今後の国内プライベートクラウド市場は、ITの効率化だけでなく、産業特化型ソリューションによる付加価値化や、企業のDXを支える基盤として高い成長を継続するとIDCは予測しています。

COVID-19の影響によって、企業のDXに対する意識は高まっており、プライベートクラウドに対する期待も変化が見られます。「ベンダーは、これまでの延長線上で製品 / サービスを強化するのではなく、産業特化型やハイブリッドクラウド

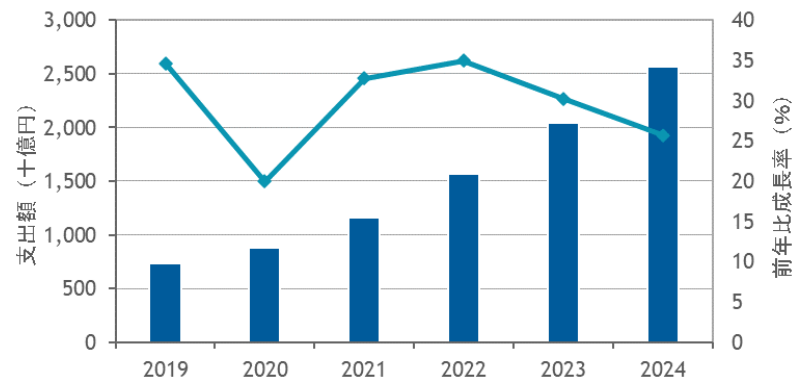
を容易に実現するソリューション化が重要となる」と、IDC Japan ITサービスのリサーチディレクターである松本 聡 は分析しています。

今回の発表はIDCが発行した国内プライベートクラウド市場予測、2020年～2024年にその詳細が報告されています。本レポートでは、国内プライベートクラウド市場の概況や動向を分析し、セグメント別に2020年～2024年までの市場予測をまとめています。

< 参考資料 >

国内プライベートクラウド市場 支出額予測、2019年～2024年

Figure 1



Source: IDC Japan, 10/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com. All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan

jp-press@idcjapan.co.jp

+81-3-3556-4760